

海外生活 レポート 40



大橋 歩美さん

ネパール、カトマンズ在住、
川崎市出身
JICA青年海外協力隊
任期：2019年4月から2年間

ヒマラヤの山々に抱かれて



ティハール祭にて、姉から妹へ額にティッカをつけてお祈りしている様子

ナマステ!(こんにちは!)ネパールは、南アジアの中の国で、インドと中国の間に位置しています。世界最大のヒマラヤ山脈があり、国旗は世界唯一の2つの三角形のかたちをしています。ヒンドゥー教や仏教などが調和し、ブッダの生誕地ルンビニがあります。豊かな自然と温かい人々、そんな国に私は来ています。



朝日を浴びるヒマラヤ

自然あふれる国、温かい人々

北は世界最大のヒマラヤ山脈、中間は山間地帯、南は平原が広がりジャングルサファリを楽しめる国立公園。同じネパールといっても、地域によって特色のある自然があふれています。その土地で暮らす人々の文化、生活も様々で、たくさんの表情を見せてくれる国です。

いだ

「ご飯食べた?」挨拶をした時にこう聞くのがネパール流。早朝から仕事や市場が始まるネパールでは、起床後のお茶と軽食から始まり、食事は1日4回。マサラミルクティー、スパイスを使った料理がとっても美味しいんです。

ネパールの人々はマヤ(愛)を日常から言葉にし、大切にしています。近所の人たちも仲よし!お茶タイムには、店先でミルクティーを飲みながら楽しそうにおしゃべりしています。私にも毎朝、「おはよう!」と声を掛けてくれたり、子どもが手を振ってくれたり。人懐っこくて、楽しむ事が上手、そんな心の温かな人柄を感じます。

震災からの復興、日本とのつながり

2015年4月、ネパールはマグニ



スクラファンタ野生動物保護区のゾウ

チュード7.8の大地震に見舞われました。その時、日本は国際緊急援助隊を派遣し、今も復興活動が行われています。日本とネパールの交流は、日本の青年海外協力隊派遣が50年続いています。また、日本へ来るネパールの方々も増えてきています。



近所の子どもたち。カメラを向けると照れ笑い

交通の安全な街づくりのために

ネパールでは、車やバイクが急増し、車両人も交通安全ルールを守ることが大きな課題となっています。私は、首都カトマンズの首都圏交通警察交通局で働いています。学校を回り、子どもたちに交通安全教室を開くのが私の仕事です。子どもたちが、小さいときから交通ルールを守ることを学んで、将来、ネパールが交通の安全な国になってほしい。そんな願いのもと、同僚の警察官や学校の先生と手を取り合って、活動していきたいと思っています。



交通安全教室「交通ルールを守ろうね!」

【お知らせ】 次期JICA 海外協力隊

■応募期間：2月20日(木)～3月30日(月)
年2回、春と秋にJICAボランティアを募集しています。事業概要や応募方法など、詳しくはJICAのホームページをご覧ください。
<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>
ホームページを中心にボランティア関連情報を発信しています。なお、JICA横浜では随時、応募相談を受け付けておりますので、お気軽にお問合せください。
TEL:045-663-3220

INFORMATION



外国人インタビュー

23

第25回外国人市民による 日本語スピーチコンテスト

毎年恒例の「外国人市民による日本語スピーチコンテスト」が2月15日(土)、川崎市国際交流センターで開催されました。コンテストの出場条件は、来日5年以内の外国人市民で、市内の大学等の留学生や社会人、日本語学習者など。今回は11名(中国6名、韓国2名、台湾1名、スリランカ1名、フィリピン1名)が出場しました。審査委員長の関口明子さんからは、「皆さん全体的に日本語のレベルが高く、選ぶのに苦労しました」との講評がありました。



上位2名にインタビューしました。

質問内容

- ①日本語スピーチコンテストに参加したきっかけ
- ②テーマを選んだ理由と伝えたかったこと
- ③川崎の好きなところ、良いと思うところ



最優秀賞

田 慶吉 さん
【中国出身】

「言語はまた国境なき文化の一つ」

- ①これまで中国語、英語、日本語を学ぶ機会がありましたが、なかでも日本語は漢字をルーツに持つことばと、外国語を音のまま表記できるカタカナがあり、東洋と西洋が共存している、グローバルな時代にふさわしい言語ではないかと思っています。その日本語の魅力を伝えたくてコンテストに参加しました。
- ②グローバルな観点から、日本語とコミュニケーションのあり方をテーマに掲げました。私は今、大学で情報通信工学の勉強をしています。これからの世の中、どんなにAIの技術が進んでも機械には心を伝えることはできないでしょう。伝えたかったのは、言語は単なるコミュニケーションのツールではなく、心を届けるものであるということです。
- ③武蔵小杉に住んでいますが、東京と横浜の間にあって通勤・通学に便利なところが気に入っています。街も暮らしやすく、人が優しいですね。



川崎商工会議所会頭賞

アリカバ マリー
アントネット さん
【フィリピン出身】

「フィリピンについての3つのこと」

- ①日本語を話す能力を上達させたくて参加しました。日本語は難しいですが、発音は何とか慣れました。ただ、漢字はとてとても大変ですね!来日して3年。岩手県の高校で英語を教え、今は、川崎市の小学校で英語を教えています。川崎へ来て3ヶ月が経ちました。
- ②私が「おもしろい!」と思ったフィリピンについての印象を伝えたくて選びました。仕事で会う小学生のフィリピンに対する印象は「バナナ」なんです!スーパーへ行って「なるほど!」と、その理由が分かりました。ただ、フィリピンでは「バナナ」以上に「マンゴー」が親しまれています。他に、「ビーチが美しいこと」や「歌を歌うのが好きなこと」もフィリピンの魅力ですね。
- ③まだ、川崎に来て3ヶ月なので、これから探るところです。川崎大師に行きました。浅草ほど混雑していないで良かったです。



川崎ライオンズクラブ 優秀賞

イシャラ マドウシャニ さん
【スリランカ出身】
「母のようになりたい」



川崎市国際交流協会 優秀賞

楊 雪梅 さん
【中国出身】
「何かしたいな!できるかな?」



川崎ライオンズクラブ 特別賞

尹 路 さん
【中国出身】
「忘年之交」



川崎市国際交流協会 特別賞

趙 秀 さん
【中国出身】
「思いやりのある日本」

(取材・文：編集ボランティア 正一 努、水野 裕子)
(写真：安田 芳郎)